

# 商工ジャーナル

SHOKO JOURNAL

10  
OCTOBER

2014

## 特集 事業再構築への挑戦

新連載 加来耕三「諸国人物伝 志を次代へつなぐ」  
クローズアップ 動きだすロボット革命



従業員満足の  
経営で飛躍する  
テニススクール界トップ  
ノアインドアステージ(株)

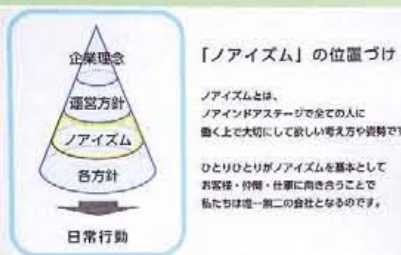


先輩コーチによる新人コーチへの  
指導(加古川校)



ノアインドアステージ(株)  
従業員満足経営で飛躍する  
テニススクール界トップ

## ES(従業員満足)による モチベーションアップで活性化



←「ノアイズム」の位置づけ

「ノアイズム」の位置づけ

ノアイズムとは、  
ノアインドアステージで全ての人に  
働く上で大切にしたい考え方や姿勢です。

ひとりひとりがノアイズムを基本として  
お客様・仲間・仕事に向き合うことで  
私たちは第一の会社となるのです。



→「ノアフィロソフィ手帳」。今年2月に作成し、社員全員に配布した。支援を依頼された経営難のスクールもノアフィロソフィで再生を図る



↑テレビ会議システムによる早朝勉強会。フィロソフィの手帳の項目に沿って各校従業員が発表する。大西社長も出席して発表終了後にコメントし、従業員とのコミュニケーションを深めている(本社)



↑レッスン前の準備体操。ノアイズムの1つ「360度笑顔」でコーチも笑顔を決やさない(加古川校)



↑2012おもてなし経営企業選(右)、就活アワード2014(左上右)、日本における働きがいのある会社2013(左上左)、2013関西経営品質賞優秀賞(左下)など、各種表彰を受けている



↑フットサルのインドアコート。現在2店舗だが、今後拡大を目論む(姫路校、同社提供)



↑レッスン風景。受講生を楽しませつつ熱心にコーチが指導している(加古川校)

## 他のスポーツ施設との 相乗効果も模索



←自らテニス選手・コーチの経験を持つ大西社長(姫路校インドアテニスコート)。子息の大西賢(けん)選手は、今年5月プロに転向し、全仏オープン男子ジュニア部門に出場した



↑加古川校のフロント(左)。昨年9月に㈱サンリオのライセンスを取得し、ハローキティのグッズ(右)を提供している。また、環境整備や周辺の清掃など地域共生型の店舗運営に取り組み、現場の協力体制も強化する

企業データ  
**ノアインドアステージ(株)**  
本社  
兵庫県姫路市東山524  
TEL 079-246-2069  
FAX 079-246-2025  
http://www.noahis.com/  
創業設立 1980(昭和55)年8月  
資本金 5000万円  
年商 33億円(2014年3月期)  
従業員 643名(2014年3月)

中期経営計画で売上100億円、40校を掲げ、「将来は選手育成も含めたテニスの総合パートナーをめざし、海外にも展開する」と、大西社長の夢は膨らむ。  
撮影 山口 隆 文 湯川 彦

「当時は成果主義で不満の余地はないと思っていたが、従業員とのコミュニケーションを欠く自分に気が付いた」  
そこから経営方針を大転換し、従業員満足(ES)を追求する。正社員全員に誕生日に手紙を送ることにして、何を書けばいいかわからない社員とは対話により情報収集したりもした。現場を回るようになり、従業員との対話で距離が縮まるにつれ、従業員の意識も変わった。  
09年、従業員との議論から生まれた行動指針「ノアイズム」で、7つの原則(お客様感動、現場主義、チームワーク、利他の心、チャレンジ精神、学ぶ姿勢、360度笑顔)を確立した。経営情報も従業員に公開し共有する。同社の取り組みは近年「おもてなし経営企業選50社」(経済産業省)をはじめ多数の賞で評価されている。  
中期経営計画で売上100億円、40校を掲げ、「将来は選手育成も含めたテニスの総合パートナーをめざし、海外にも展開する」と、大西社長の夢は膨らむ。

「順」 調に業績を伸ばしてきた大西社長だが、2002年に幹部社員の離反で集団退社された苦い経験がある。  
「テニススクールは今後、関東中心に出店していく。また、今秋にホットヨガ1号店をオープンし、年末には横浜に総合スポーツ施設を開張する。そこには当社運営のテニス、ホットヨガのほか、他社運営のダンス、ゴルフ、フィットネスなどに入ってもらい、相乗効果を狙う」  
大西社長の父・壬氏は、マッチ製造の老舗・㈱日東社を経営していたが、時代の変化で軸棒の工場を閉鎖。その跡地利用で当時ブームだったテニスに目をつけ、1980年に日東興業(株)を設立して、姫路テニスクラブを開いた。大西社長は7年に日東社に入社して営業を担当していたが、テニスクラブの支配人が突然退社した後を任された。学生時代のテニス経験で、コーチも務めた。

「屋」 外スポーツのイメージがあるテニスだが、屋内(インドア)に特化したテニススクールを展開し、業界トップに君臨するのが、ノアインドアステージ(株)(兵庫県姫路市、大西雅之社長)だ。現在、関東・近畿・中国地方に21のスクールを展開している。  
大西社長の父・壬氏は、マッチ製造の老舗・㈱日東社を経営していたが、時代の変化で軸棒の工場を閉鎖。その跡地利用で当時ブームだったテニスに目をつけ、1980年に日東興業(株)を設立して、姫路テニスクラブを開いた。大西社長は7年に日東社に入社して営業を担当していたが、テニスクラブの支配人が突然退社した後を任された。学生時代のテニス経験で、コーチも務めた。  
当時、まだ屋外のコートだったが、天候に左右されるため会員数は頭打ち。そこで90年にインドア化に舵を切り、99年「ノアの方舟」にちなんで現社名に変更した。現在はテニススクールを事業の柱に、テニスインストラクターの養成・派遣やテニス用品などの販売、フットサル、学習塾経営なども手掛ける。